

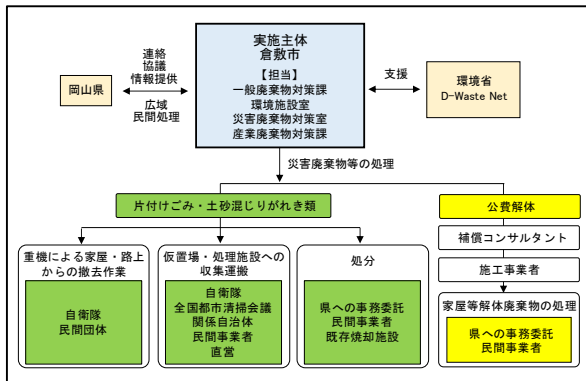
# 平成30年7月豪雨に伴う倉敷市災害廃棄物処理実行計画(第2版) 概要版

## 第1章 計画策定の趣旨

- ① 目的  
倉敷市内で発生した災害廃棄物を迅速かつ適正に処理することを目的とする。
- ② 計画の位置づけ  
「倉敷市災害廃棄物処理計画」に基づき、今回の災害における災害廃棄物等の処理の基本方針、発生量の推計、仮置場の設置及び管理・運営、処理方法、処理スケジュール等を定めるものとする。
- ③ 計画の対象地域  
平成30年7月豪雨により災害廃棄物等が発生した地域とする。

## 第2章 処理の基本方針

- ① 処理対象  
平成30年7月豪雨に起因して発生した廃棄物のうち、倉敷市が生活環境保全上支障があるものとして認めたもの。
- ② 公費解体  
全壊、大規模半壊、半壊の家屋等について、所有者の申請に基づき公費解体を行う。また、公費解体実施前に所有者自ら解体・撤去した事案については、玉島E地区フラワーフィールドで家屋等解体廃棄物の受入を行うとともに、申請に基づき要した費用の償還を行う。
- ③ 処理の基本方針  
市民の生活環境の保全、リサイクルの推進、自区内処理の優先、関係機関との協力、経費節減の努力
- ④ 事務委託  
地方自治法第252条の14の規定により、岡山県に対し災害廃棄物等処理の一部(二次仮置場の管理・運営等)を委託する。
- ⑤ 実行体制



- ⑥ 財源  
環境省の「災害等廃棄物処理事業費補助金」を活用する。

## 第3章 被災状況

区分	死者(うち災害関連死)		重症	軽傷		
人数	59(7)		9	111		
区分	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床上浸水	計
棟数	4,646	452	394	369	116	5,977

平成30年7月豪雨災害対応検証報告書(平成31年4月)から引用

## 第4章 災害廃棄物等の発生量

区分	発生量 (推計)	搬出済 (実績)	今後の搬出見込 (推計)
家屋等解体廃棄物	247,433	152,018	95,415
片付けごみ	96,594	89,611	6,983
土砂混じりがれき類	6,075	5,554	521
計	350,102	247,183	102,919

(単位:t)

### 災害廃棄物等の定義

- ・家屋等解体廃棄物: 損壊家屋等の解体・撤去により発生した廃棄物
- ・片付けごみ: 家財道具等が災害により廃棄物となったもの
- ・土砂混じりがれき類: 土砂が混入したがれき類

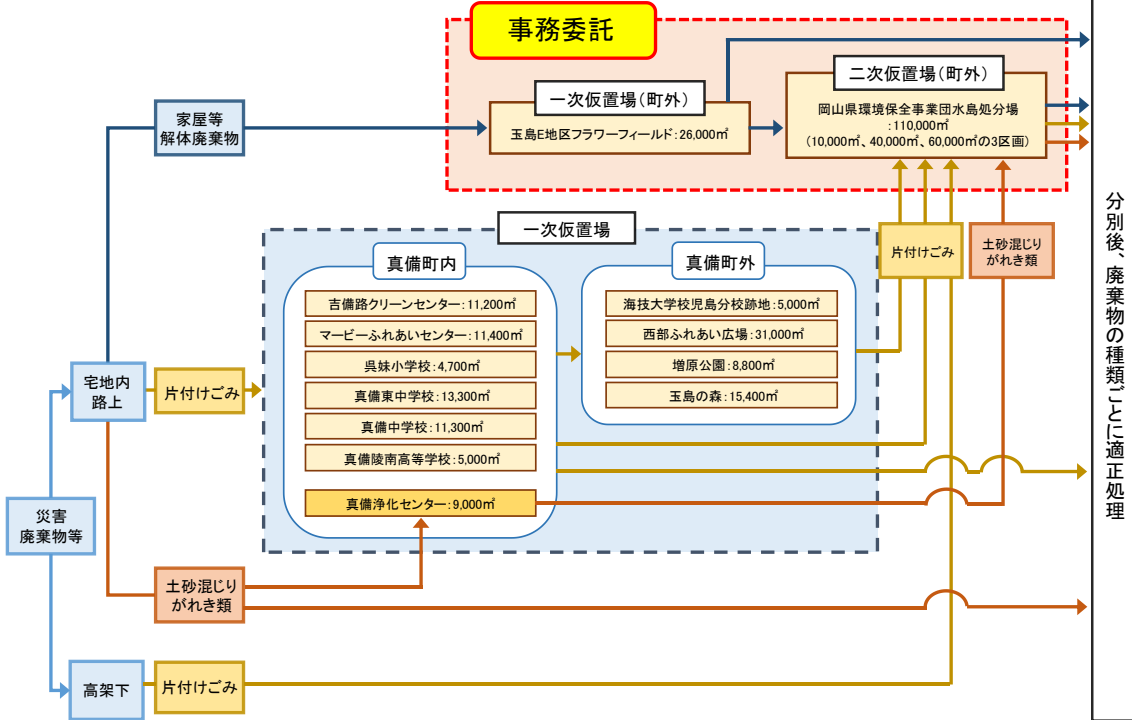
### 搬出済及び今後の搬出見込について

被災地から玉島E地区フラワーフィールド、二次仮置場及び既存処理施設へ搬出された現在までの搬出量及び今後の搬出見込量をいう。

## 第5章 仮置場の設置及び管理・運営

仮置場の名称	開設日	運営状況
吉備路クリーンセンター	H30.7.9	開設中
マービーふれあいセンター	H30.7.10	搬出済
真備浄化センター	H30.7.15	搬出済
呉妹小学校	H30.7.13	搬出済
真備東中学校	H30.7.13	搬出済
真備中学校	H30.7.17	搬出済
真備陵南高等学校	H30.7.14	搬出済
西部ふれあい広場	H30.7.11	搬出済
増原公園	H30.7.26	搬出済
海技大学校児島分校跡地	H30.8.1	搬出済
玉島の森	H30.8.2	搬出済
玉島E地区フラワーフィールド	H30.8.20	開設中
岡山県環境保全事業団水島処分場	H30.7.31	開設中

## 第6章 災害廃棄物等の処理方法



## 第7章 処理の見通し及び進捗管理

	平成30年				平成31年				令和元年				令和2年											
	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
街中の災害廃棄物の撤去	[Progress bar]																							
一次仮置場の管理・運営 (事務委託を除く)	[Progress bar]																							
公費解体 (損壊家屋等の解体・撤去)	[Progress bar]																							
一次仮置場の管理・運営 【岡山県へ事務委託】	[Progress bar]																							
二次仮置場の管理・運営 【岡山県へ事務委託】	[Progress bar]																							